

令和元年度

名 寄 地 区 衛 生 施 設 事 務 組 合
一般会計歳入歳出決算審査意見書

名 寄 地 区 衛 生 施 設 事 務 組 合 監 査 委 員

名 衛 監 第 2 号

令和 2 年 11 月 26 日

名 寄 地 区 衛 生 施 設 事 務 組 合

管 理 者 加 藤 剛 士 様

名 寄 地 区 衛 生 施 設 事 務 組 合

監 査 委 員 鹿 野 裕 二

監 査 委 員 山 崎 真 由 美

令和元年度名寄地区衛生施設事務組合一般会計歳入歳出決算審査意見について

地方自治法第292条の規定により準用する同法第233条第2項の規定に基づき審査に付された、令和元年度名寄地区衛生施設事務組合一般会計歳入歳出決算について審査しましたので、次のとおり意見を提出します。

目 次

1	審査の対象	1
2	審査の期間	1
3	審査の方法及び範囲	1
4	審査の結果	1
	(1)決算諸表について	1
	(2)決算の概要	1
	ア 歳 入	2
	イ 歳 出	3
	ウ 実質収支に関する調書	4
	エ 財産に関する調書	4
5	むすび	5
資 料 （提出された資料に基づき作成）		
	資料1 財源別構成別比較表	6
	資料2 構成市町村別負担金明細	6
	資料3 し尿・浄化槽汚泥受入実績の推移（種類別）	7
	資料4 し尿・浄化槽汚泥受入実績の推移（市町村別）	7
	資料5 炭化ごみ受入実績の推移（市町村別）	7
	資料6 炭化物搬出量の推移	8
	資料7 乾燥工程に要する燃料使用量と燃料費の推移	8
	資料8 広域最終処分場埋立ごみ受入実績	8

（注） 文中及び各表中の比率等の用法は、次のとおりである。

- (1) 比率(%)・・・算出については、小数点第2位を四捨五入している。
- (2) 「0.0」・・・「当該数値はあるが、0.05未満のもの」を表している。
- (3) 「－」・・・「当該数値なし、算出不能または無意味なもの」を表している。
- (4) 上記のように処理した結果、文中及び各表中の数値とその内容の累計値とは一致しない場合がある。

1 審査の対象

- (1) 名寄地区衛生施設事務組合一般会計歳入歳出決算書
- (2) 決算付属書類(歳入歳出決算書事項別明細書、実質収支に関する調書、財産に関する調書、証書類)

2 審査の期間

令和2年8月11日から同年11月20日まで

3 審査の方法及び範囲

名寄地区衛生施設事務組合の令和元年度一般会計歳入歳出決算書及び決算付属書類が、地方自治法等の関係法令に準拠して作成されているか、計数は正確か、さらに事務執行状況、予算執行状況及び収支は適正かなどに主眼を置き、提出された関係諸帳簿及び証拠書類等必要な資料に基づいて審査した。

4 審査の結果

- (1) 決算諸表について

令和元年度一般会計歳入歳出決算書、同事項別明細書、実質収支に関する調書、財産に関する調書は、いずれも関係法令に準拠して作成されており、これらに表示されている計数は現金出納簿及び関係諸帳簿と符合しており、正確であると認めた。

- (2) 決算の概要

令和元年度一般会計の決算総額は、歳入総額5億1,607万6,304円、歳出総額4億7,394万8,307円で、形式収支(歳入歳出差引額)は4,212万7,997円となり、翌年度へ繰越すべき財源がなかったことから同額が実質収支となった。決算の状況、決算の収支は表1及び表2のとおりである。

表1 決算の状況 (単位: 円・%)

区 分	予 算 額				決 算 額	執行率
	当初予算額	補正予算額	繰越継続	予算現額		
歳 入	490,707,000	25,071,000	1,980,000	517,758,000	516,076,304	99.7
歳 出	490,707,000	25,071,000	1,980,000	517,758,000	473,948,307	91.5

表2 決算の収支 (単位: 円・%)

区 分	年 度	元年度	30年度	対前年度比較	
				増減額	増減率
歳入決算額 A		516,076,304	503,257,352	12,818,952	2.5
歳出決算額 B		473,948,307	450,683,605	23,264,702	5.2
形式収支(歳入歳出差引額) C A - B		42,127,997	52,573,747	△ 10,445,750	△ 19.9
翌年度へ繰越すべき財源 D		0	1,980,000	△ 1,980,000	—
実質収支 E C - D		42,127,997	50,593,747	△ 8,465,750	△ 16.7
単年度収支 E - 前年度E		△ 8,465,750	△ 12,217,360	3,751,610	30.7

ア 歳 入

歳入の款別決算状況は、表３のとおりである。

款別の調定額は全て収入済額と一致しており、不納欠損額及び収入未済額は０円であった。

表３

(単位：円・％)

款 別	予算現額	収入済額	執行率	前年度決算額	対前年度増減率
１ 分担金及び負担金	397,666,000	397,664,333	100.0	374,915,250	6.1
２ 使用料及び手数料	64,253,000	62,560,592	97.4	65,342,825	△ 4.3
３ 財 産 収 入	21,000	21,476	102.3	20,410	5.2
４ 繰 入 金	1,000	0	0.0	0	0.0
５ 繰 越 金	52,573,000	52,573,747	100.0	62,811,107	△ 16.3
６ 諸 収 入	3,236,000	3,247,756	100.4	167,760	1,836.0
７ 道 支 出 金	8,000	8,400	105.0	0	—
計	517,758,000	516,076,304	99.7	503,257,352	2.5

(ア) １款 分担金及び負担金

予算現額３億9,766万6千円に対し、収入済額は前年度比6.1%増の３億9,766万4,333円となった。内訳は、各構成市町村から納入された し尿等処理負担金１億1,565万9,000円、炭化処理負担金２億1,890万2,220円、埋立処理負担金4,010万5,113円、建設事業負担金2,299万8,000円である。

(イ) ２款 使用料及び手数料

予算現額6,425万3千円に対し、収入済額は前年度比4.3%減の6,256万592円であった。

使用料は、収入済額194万3,002円で、幌加内町が納めたし尿等処理施設使用料である。手数料は、収入済額6,061万7,590円で内訳は、し尿収集手数料1,245万4,690円、炭化処理手数料1,584万2,260円、埋立処理手数料3,231万640円、浄化槽清掃業許可申請手数料１万円である。

(ウ) ３款 財産収入

収入済額２万1,476円は、利子収入である。

(エ) ４款 繰入金

予算現額１千円に対し、執行額はない。

(オ) ５款 繰越金

繰越金の内訳は、前年度決算剰余金が5,059万3,747円、繰越明許繰越金が198万円であった。

(カ) ６款 諸収入

収入済額324万7,756円は前年度比307万9,996円の増となった。主な内訳は、北海道市町村職員退職手当組合精算還付金及び資源物売り払い収入による雑入が318万2,121円である。

(キ) ７款 道支出金

収入済額8,400円は、循環資源利用促進税特別徴収義務者交付金である。

イ 歳 出

歳出款別決算状況は、表４から表６のとおりである。

支出済額は、前年度比5.2%増の４億7,394万8,307円となった。

表４

(単位：円・％)

款 別	予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額	執行率	前年度決算額	対前年度増減率
1 議 会 費	683,000	638,790	0	44,210	93.5	605,136	5.6
2 総 務 費	47,955,000	47,608,449	0	346,551	99.3	51,774,840	△ 8.0
3 衛 生 費	428,066,000	417,720,297	0	10,345,703	97.6	390,290,612	7.0
4 公 債 費	7,981,000	7,980,771	0	229	100.0	8,013,017	△ 0.4
5 予 備 費	33,073,000	0	0	33,073,000	—	0	—
計	517,758,000	473,948,307	0	43,809,693	91.5	450,683,605	5.2

(ア) 1 款 議会費

支出済額は63万8,790円となった。

(イ) 2 款 総務費

支出済額は、前年度比 8 % 減の4,760万8,449円となった。

表５

(単位：円・％)

項 別	予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額	執行率	前年度決算額	対前年度比較	
							増減額	増減率
1 総務管理費	47,813,000	47,470,734	0	342,266	99.3	51,653,459	△ 4,182,725	△ 8.1
2 監査委員費	142,000	137,715	0	4,285	97.0	121,381	16,334	13.5
計	47,955,000	47,608,449	0	346,551	99.3	51,774,840	△ 4,166,391	△ 8.0

(ウ) 3 款 衛生費

支出済額は、前年度比 7 % 増の 4 億1,772万297円となった。

表６

(単位：円・％)

項目別	予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額	執行率	前年度決算額	対前年度比較	
							増減額	増減率
1 清 掃 費	428,066,000	417,720,297	0	10,345,703	97.6	390,290,612	27,429,685	7.0
1 し尿収集費	13,361,000	13,315,065	0	45,935	99.7	14,747,322	△ 1,432,257	△ 9.7
2 し尿処理費	105,773,000	104,082,735	0	1,690,265	98.4	79,886,368	24,196,367	30.3
3 炭化処理費	219,629,000	217,922,870	0	1,706,130	99.2	207,741,159	10,181,711	4.9
4 埋立処理費	72,004,000	65,167,432	0	6,836,568	90.5	71,592,110	△ 6,424,678	△ 9.0
5 ごみ処理施設建設費	17,299,000	17,232,195	0	66,805	99.6	16,323,653	908,542	5.6

(エ) 4 款 公債費

支出済額は、前年度比0.4%減の798万771円となった。

これは、地方債（一般廃棄物処理施設整備事業債）の元利償還金である。

(オ) 5 款 予備費

予備費の充用はない。

ウ 実質収支に関する調書

本調書と決算書を照合審査した結果、計数は正確であることを認めた。

エ 財産に関する調書

土地、建物、物品、基金について令和元年度中の増減及び年度末現在高を確認した。

(ア) 公有財産

表 7

区	分	30年度末 現在高	決算年度中増減高	元年度末 現在高
土 地 (面積・㎡)	し尿処理施設	86,516.17	0	86,516.17
	炭化処理施設	0.00	0	0.00
	名寄地区広域最終処分場	0.00	0	0.00
建 物 (延面積・㎡)	し尿処理施設	2,065.61	0	2,065.61
	炭化処理施設	2,913.10	0	2,913.10
	名寄地区広域最終処分場	613.62	0	613.62
構 築 物 (基・式)	衛生センター	24	0	24
	炭化センター	11	0	11
	名寄地区広域最終処分場 (浸出水処理施設)	21	0	21
	名寄地区広域最終処分場 (埋立処分地施設)	17	0	17
機械及び装置 (式)	衛生センター	12	0	12
	炭化センター	13	0	13
	名寄地区広域最終処分場 (浸出水処理施設)	12	0	12

(イ) 物品

表 8

物 品 (台)	衛生センター	7	-1	6
	炭化センター	6	0	6
	名寄地区広域最終処分場	2	0	2

(ウ) 基 金

表 9

(単位：千円)

区 分	30年度末現在高 令和元. 5. 31	決算年度中増減高	元年度末現在高 令和 2. 5. 31
施設整備基金	132,000	26,021	158,021

5 むすび

令和元年度の名寄地区衛生施設事務組合一般会計の決算について、歳入総額は前年度比2.5%増の5億1,607万6,304円となり、歳出総額は5.2%増の4億7,394万8,307円となった。この結果、形式収支（歳入歳出差引額）は4,212万7,997円となり、翌年度へ繰越すべき財源がなかったことにより実質収支は同額となった。

圏域人口の減少により中・長期的に処分量等の減少が見込まれ、今後の見通しと対策が求められるなか、「一般廃棄物広域化基本計画（計画期間：平成25年～令和9年）」の見直しが行われた。本計画の着実な推進に努めていただきたい。

し尿処理費、炭化処理費及び埋立処理費では施設設備、重機等の老朽化に伴う修繕料や改修工事費の支出が増加した。今後も計画的かつ適切な維持管理に努められたい。

組合の運営においても令和2年2月以降は、新型コロナウイルス感染症対策が求められており、日常業務における危険予知及び安全管理マネジメントの強化に努めるとともに、環境課題の変化に対応し、安定的かつ効率的な財政運営を図り、公衆衛生の確保と圏域住民の生活環境の保全に努めていただきたい。

資

料

資料 1

財源別構成別比較表

(単位：円・%)

区 分 \ 年 度		元年度 A		30年度 B		29年度		対前年度比較	
		決 算 額	構 成 比	決 算 額	構 成 比	決 算 額	構 成 比	増減額 A-B	増減率
一 般 財 源	分担金及び負担金	397,664,333	77.1	374,915,250	74.5	917,647,000	63.0	22,749,083	6.1
	財 産 収 入	21,476	0.0	20,410	0.0	0	—	1,066	5.2
	繰 越 金	52,573,747	10.2	62,811,107	12.5	67,521,541	4.6	△10,237,360	△ 16.3
	諸 収 入	3,247,756	0.6	167,760	0.0	70,839	0.0	3,079,996	1,836.0
	小 計	453,507,312	87.9	437,914,527	87.0	985,239,380	67.7	15,592,785	3.6
特 定 財 源	使用料及び手数料	62,560,592	12.1	65,342,825	13.0	31,665,596	2.2	△2,782,233	△ 4.3
	国 庫 支 出 金	—	—	—	—	438,815,000	30.1	—	—
	道 支 出 金	8,400	0.0	0	0.0	0	0.0	8,400	—
	小 計	62,568,992	12.1	65,342,825	13.0	470,480,596	32.3	△2,773,833	△ 4.2
合 計		516,076,304	100.0	503,257,352	100.0	1,455,719,976	100.0	12,818,952	2.5

資料 2

構成市町村別負担金明細

(単位：円・%)

区 分 \ 市町村名	し尿等処理 負 担 金	構 成 比	炭 化 処 理 負 担 金	構 成 比	埋 立 処 理 負 担 金	構 成 比	建 設 事 業 負 担 金	構 成 比	合 計	構 成 比
名 寄 市	75,962,000	65.7	174,204,490	79.6	17,332,453	43.2	14,003,000	60.9	281,501,943	70.8
美 深 町	20,422,000	17.7	23,000,730	10.5	8,785,250	21.9	3,694,000	16.1	55,901,980	14.1
下 川 町	15,504,000	13.4	20,897,000	9.5	7,611,290	19.0	3,224,000	14.0	47,236,290	11.9
音 威 子 府 村	3,771,000	3.3	800,000	0.4	6,376,120	15.9	2,077,000	9.0	13,024,120	3.3
計	115,659,000	100.0	218,902,220	100.0	40,105,113	100.0	22,998,000	100.0	397,664,333	100.0

構成比率の算出については、小数点第2位を四捨五入しているため累計値と一致しない場合がある。

(注) 1 し尿等処理負担金の構成比

施設割：平成27年国勢調査人口

実績割：平成30年1月～12月し尿・浄化槽汚泥搬入量実績

その他：児童手当、公費負担

2 炭化処理負担金の構成比

施設割：均等割15% + 人口割85% (平成27年国勢調査人口)

実績割：平成30年1月～12月炭化対象ごみ搬入量実績

その他：児童手当、自己搬入手数料

3 埋立処理負担金の構成比

施設割：均等割30% + 人口割70% (平成27年国勢調査人口)

実績割：均等割30% + 実績割70%

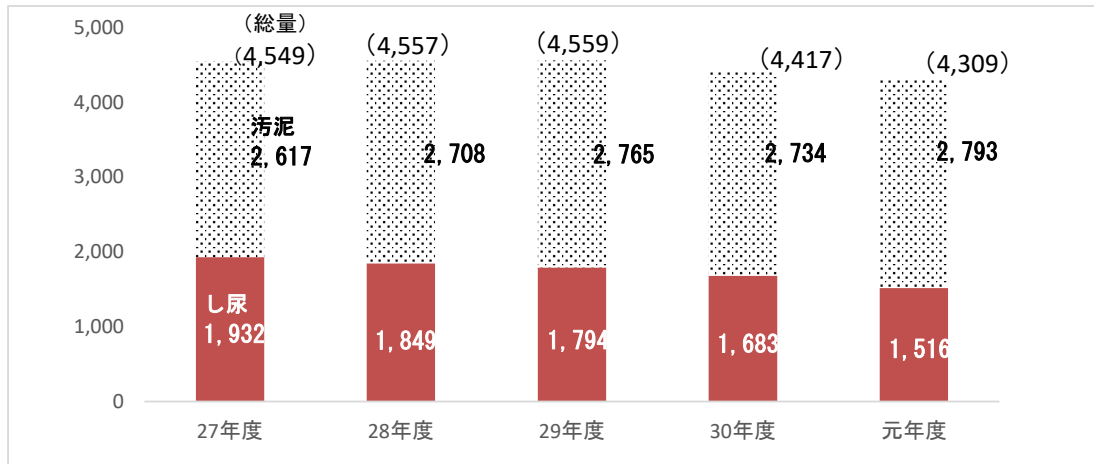
その他：児童手当、自己搬入手数料、内淵水処理施設設備電気料

4 建設事業負担金の構成比

施設割：均等割30% + 人口割70% (平成27年国勢調査人口)

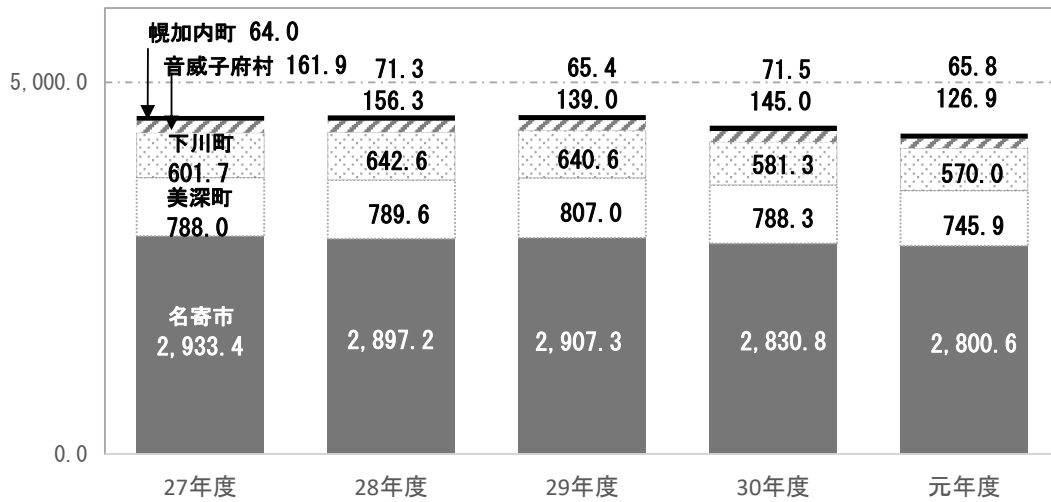
資料 3 し尿・浄化槽汚泥受入実績の推移（種類別）

単位：kℓ



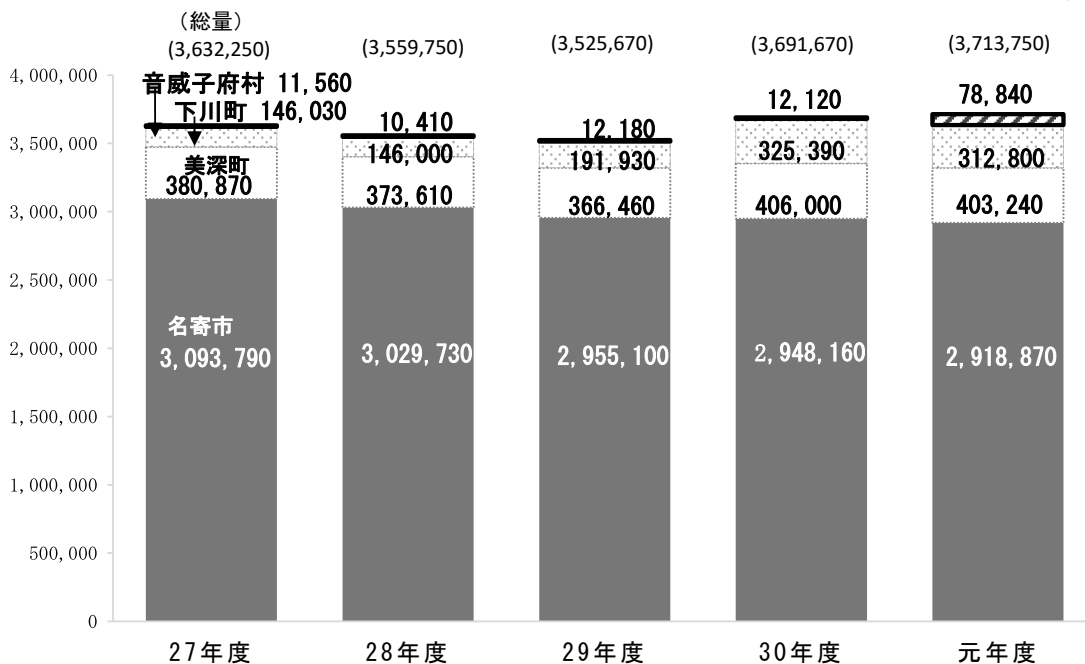
資料 4 し尿・浄化槽汚泥受入実績の推移（市町村別）

単位：kℓ



資料 5 炭化ごみ受入実績の推移（市町村別）

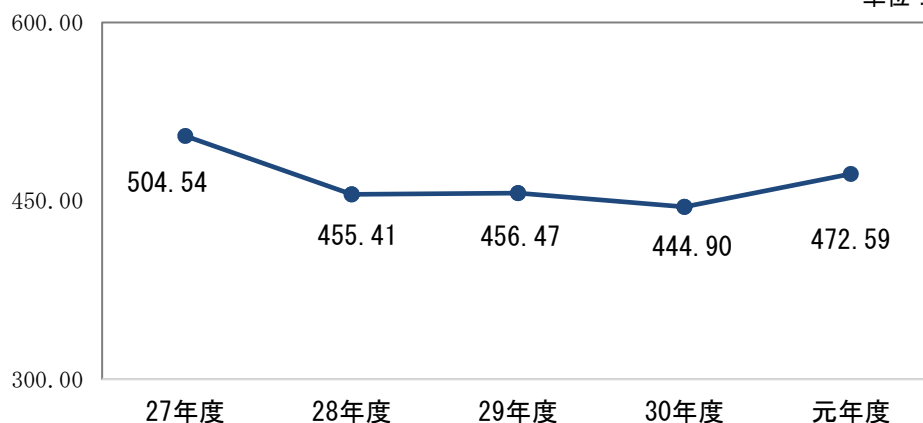
単位：kg



資料 6

炭化物搬出量の推移

単位：t

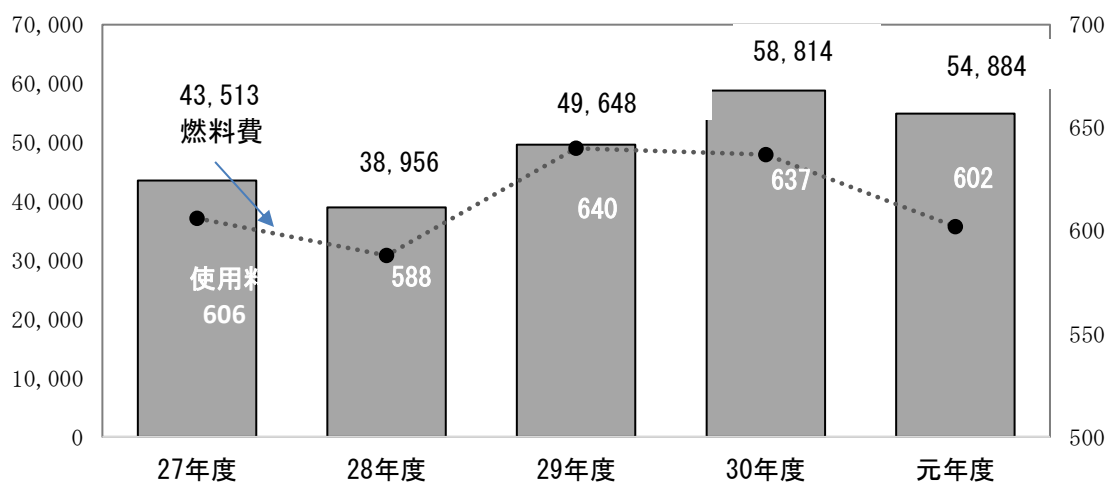


資料 7

乾燥工程に要する燃料使用量と燃料費の推移

燃料費 単位：千円

燃料使用量 単位：kℓ



資料 8

広域最終処分場埋立ごみ受入実績

(単位：kg)

市町村名	30年度	元年度
名 寄 市	5,601,580	5,519,050
美 深 町	464,260	499,110
下 川 町	265,430	283,120
音威子府村	116,710	87,430
合 計	6,447,980	6,388,710